



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 M-インターワークス

コード番号 6032 URL <http://interworks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雨宮 玲於奈

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 大平 秀行

TEL 03-6823-5404

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,253	—	465	—	457	—	308	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 308百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	69.00	67.37
26年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年3月第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 平成26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は平成26年3月期第3四半期において、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社株式は平成26年12月22日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は新規上場日から当第3四半期連結会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなし算定しております。
4. 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	2,193	—	1,673	—	76.3	—	354.09	
26年3月期	1,656	—	1,064	—	64.3	—	238.84	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,673百万円 26年3月期 1,064百万円

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	60,000.00	60,000.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期(予想)期末配当金については、当該株式分割を考慮しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,077	15.3	600	31.8	599	29.4	406	38.4	89.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	4,780,000 株	26年3月期	4,780,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	52,500 株	26年3月期	322,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	4,467,445 株	26年3月期3Q	4,166,415 株

(注) 当社は平成26年10月1日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げによる個人消費鈍化の影響を受けましたが、平成26年10月の日本銀行による追加金融緩和以降、円安が一段と加速し、輸出企業を中心に企業業績を回復させております。また、足下の原油安も寄与し景気は緩やかな回復基調が続いております。

国内の雇用環境は、有効求人倍率が引続き1倍を大きく超えて推移しており、一部企業においては人手不足が深刻な状況となっております。さらに円安の長期化を受け企業の生産拠点の国内回帰の動きが広がっており、新たな雇用が生まれる期待感が出てきております。

このような状況のなか、当社グループは、当社グループの求人メディアを必要としている多くの人々にサービスを提供すべく積極的な広告活動を継続し、求人メディアの認知度の向上を進めるとともに、企業と働く方との間に就業機会を生むため、積極的に営業活動を展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,253,286千円、営業利益は465,375千円、経常利益は457,475千円、四半期純利益は308,263千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① メディア&ソリューション事業

メディア&ソリューション事業の主力サービスである「工場WORKS」(自動車業界、機械業界を中心に製造メーカーの「工場」に勤務を希望する人の求人情報サイト)にて、製造企業の人手不足感を背景に掲載件数を増加させるとともに1社当たりの顧客単価の改善を実施いたしました。さらに求人情報の内容の充実を継続的に行うことで顧客の支持を獲得し当事業の業績拡大に寄与いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,049,403千円となり、セグメント利益は352,869千円となりました。

② 人材紹介事業

人材紹介事業におきましては、対象領域の絞り込みや、マッチングの精度を高めるための仕組作りを行うことで、クライアント企業の充足効率を高めております。当第3四半期連結累計期間の売上高は457,806千円となり、セグメント利益は46,144千円となりました。

③ 採用支援事業

採用支援事業におきましては、政府からの要請により2016年新卒採用における広報活動開始が2014年12月1日から2015年3月1日以降に変更されたことから、この期間における新卒採用支援業務の売上機会が減少することを見越し、中途採用支援業務の営業活動を強化してまいりました。その結果、大手小売業から中途採用支援の大型案件を受託し、当第3四半期連結累計期間も予定通り推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は746,076千円となり、セグメント利益は66,207千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて537,728千円(32.5%)増加し、2,193,995千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加726,530千円、売掛金の減少98,276千円、その他流動資産の減少62,714千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて71,487千円(12.1%)減少し、520,013千円となりました。これは主として、未払法人税等の増加58,769千円、短期借入金金の減少20,000千円、買掛金の減少31,068千円、その他流動負債の減少59,301千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて609,215千円(57.2%)増加し、1,673,981千円となりました。これは主として、自己株式の処分により資本剰余金が399,242千円増加し、自己株式が35,332千円減少したことと、四半期純利益308,263千円の計上、剰余金の配当による減少133,740千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月22日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、株式会社I&Iエグゼクティブエージェントについては清算終了のため、連結の範囲から除外しております。

なお、変更後の連結子会社の数は1社であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	908,572	1,635,102
売掛金	427,198	328,921
その他	105,941	43,227
貸倒引当金	△268	△238
流動資産合計	1,441,443	2,007,013
固定資産		
有形固定資産	51,982	40,978
無形固定資産		
のれん	68,618	56,509
その他	28,841	23,236
無形固定資産合計	97,460	79,745
投資その他の資産		
破産更生債権等	13,300	13,531
その他	65,379	66,256
貸倒引当金	△13,300	△13,531
投資その他の資産合計	65,379	66,256
固定資産合計	214,822	186,981
資産合計	1,656,266	2,193,995
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,820	77,752
短期借入金	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	24,284	22,236
未払法人税等	77,442	136,211
賞与引当金	—	4,200
解約調整引当金	3,021	2,344
その他	303,483	244,182
流動負債合計	537,051	486,927
固定負債		
長期借入金	49,026	29,643
退職給付に係る負債	4,358	3,443
その他	1,065	—
固定負債合計	54,449	33,086
負債合計	591,501	520,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
資本剰余金	163,209	562,451
利益剰余金	793,369	967,893
自己株式	△42,226	△6,894
株主資本合計	1,064,352	1,673,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	412	530
その他の包括利益累計額合計	412	530
純資産合計	1,064,765	1,673,981
負債純資産合計	1,656,266	2,193,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,253,286
売上原価	687,113
売上総利益	1,566,172
販売費及び一般管理費	1,100,796
営業利益	465,375
営業外収益	
受取利息	221
受取配当金	42
保険解約返戻金	1,769
その他	80
営業外収益合計	2,113
営業外費用	
支払利息	1,120
株式公開費用	8,866
その他	27
営業外費用合計	10,013
経常利益	457,475
特別利益	
事業譲渡益	40,545
特別利益合計	40,545
特別損失	
固定資産除却損	47
特別損失合計	47
税金等調整前四半期純利益	497,973
法人税、住民税及び事業税	175,679
法人税等調整額	14,029
法人税等合計	189,709
少数株主損益調整前四半期純利益	308,263
四半期純利益	308,263

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	308,263
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	117
その他の包括利益合計	117
四半期包括利益	308,380
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	308,380
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月22日における東京証券取引所マザーズへの株式上場にあたり、平成26年12月19日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による自己株式処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が399,242千円増加し、自己株式が35,457千円減少したことにより、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が562,451千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディア&ソ リューション 事業	人材紹介事業	採用支援事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,049,403	457,806	746,076	2,253,286	—	2,253,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,805	—	3,380	6,185	△6,185	—
計	1,052,208	457,806	749,456	2,259,471	△6,185	2,253,286
セグメント利益	352,869	46,144	66,207	465,222	153	465,375

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引で発生したものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。